

大田市駅周辺東側地区まちづくり瓦版

第 2 回合同部会を開催しました！！

昨年度組織したワーキンググループを 3 部会に再編し、大田市駅周辺東側地区のまちづくりを具現化するために、より具体的な検討を行うことを目的に、平成 24 年 9 月 12 日（水）に「第 2 回合同部会」を開催しました。

第 2 回は「“駅通り”の新たなまちづくり（案）」、「“駅通り”の社会実験」について説明を行い、みなさまからの意見を頂きました。

■ 第 2 回大田市駅周辺東側まちづくり検討“合同部会” 実施概要 ■

- 日 時：2012 年（平成 24 年）9 月 12 日（水） 19:00～21:00
- 場 所：商工会議所 2F
- 参加者：17 名（店主、住民、商工会議所、地区内外自治会長等）
- プログラム

18:30 ～ 19:00（30 分）	受 付
19:00 ～ 19:05（5 分）	開会のあいさつ、趣旨説明
19:05 ～ 19:20（15 分）	“駅通り”の新たなまちづくり（案）について
19:20 ～ 19:55（35 分）	質疑、意見・応答
19:55 ～ 20:10（15 分）	“駅通り”の社会実験について
20:10 ～ 20:45（35 分）	質疑、意見・応答
20:45 ～ 20:50（5 分）	総括・感想
20:50 ～ 21:00（10 分）	今後の予定、閉会のあいさつ



“駅通り”の新たなまちづくり（案）の説明の様子



質疑、意見・応答の様子

●発行：大田市 建設部 都市計画課 都市計画係
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111
TEL (0854)82-1600 (代表) FAX (0854)82-1722

◆ “駅通り”の新たなまちづくり（案）について◆（部会時の説明内容抜粋）

昨年度実施した大田市駅周辺東側地区の「まちづくり協議会」や「ワーキンググループ」において、「駅通り」は、安心して歩けるよう十分な歩行スペースを確保することや、バリアフリー化を進めること、また駅前にふさわしい空間、商店街の賑わいのある通りとして再生していくことが提案されています。

また、周辺地域での住民アンケート調査でも、過半数の人が「歩行者が通行しやすい道路がよい」と答えています。

このようなことから“駅通り”を歩行者優先のにぎわいのあるまちとして、再生していくことを提案します。

【まちづくりの基本的な考え方】

- **バリアフリーの歩行者優先のみちづくりを進めます。**
- **商店街と一体となった公共スペースとしてのみちづくりを進めます。**
- **駅前のメイン通りにふさわしい魅力あるみちづくりを進めます。**

1) 交通規制

① 終日一方通行（現在は 7:00～19:30 の北向き一方通行）

・歩行者の安全を重視し、前後両方向からのクルマの接近を避けるとともに、できるだけ幅の広い歩行スペースを確保するため、終日の北向き一方通行化とします。

メリット

- ・歩行空間の確保 少しでも幅の広い歩行空間（路側帯）が確保できます（横断も安全です）
- ・歩行者の安全 クルマは一方方向のため、確認しやすく安全性が高いといえます。
- ・誤進入の防止 物理的な誤進入防止策が可能のほか、紛らわしさがありません。

デメリット

- ・クルマが不便 夜間も一方通行になるため、沿道の方々や来街する人、駅通りをクルマで通過する人にとって、夜間のクルマ利用が不便になります。

② 終日駐車禁止（現在は 7:00～21:00）

・歩行者、自転車、クルマの安全な通行と、できるだけ幅の広い歩行スペースを確保するため、終日の駐車禁止とします。

③ 終日大型車進入禁止（現況と同じ）

・歩行者、自転車の安全と、できるだけ幅の広い歩行スペース確保のため、これまで通り終日大型車進入禁止とします。

④ 30km/h 速度規制（現況と同じ）

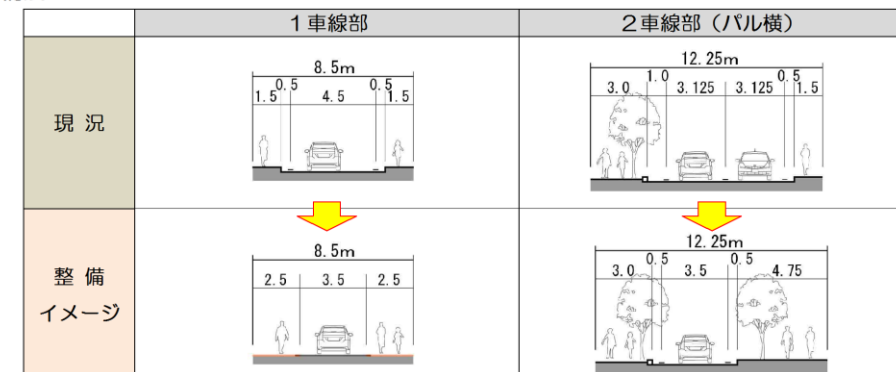
・歩行者の安全を重視し、クルマのスピードを抑制するため、これまで通り 30km/h の速度規制とします。

2) 道路の空間構成

① 基本的な考え方

・車道幅員は、バスの通行を考慮し 3.5m 確保（車両幅 2.3m + 側方余裕 0.5m × 2（両側）= 3.3m）。

② 横断構成



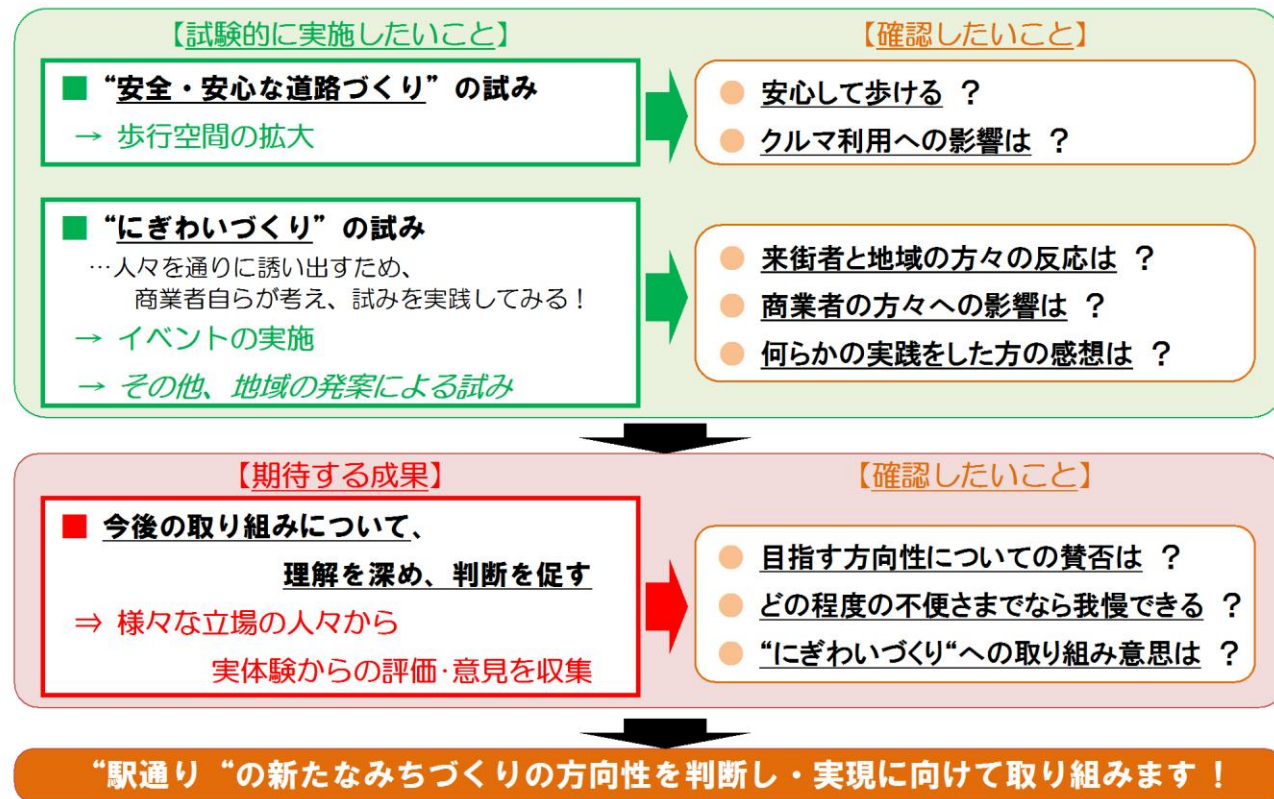
※上記は案であり、今後、社会実験結果、部会での話し合いなど、みなさんの声をもとに道路のかたちを考えていきます。

◆ “駅通り”の社会実験について◆（部会時の説明内容抜粋）

“駅通り”の社会実験は、『安全・安心な道路としての再生』、『地域のにぎわい創出』を目指して、その影響・効果や今後の方向性を探るために実施するものです。

また、地域の方々や関係者が、歩行空間の拡大やにぎわいづくりを実際に体験することにより、今後の取り組みについての判断材料が得られるほか、考えを深めていくきっかけになると考えます。

1. “駅通り”社会実験のねらい



2. “駅通り”社会実験の概要（案）

● 実験の内容（歩行空間の拡大）

① 対象区間	・ 駅通りの一方通行区間（約 630m）
② 実施期間	・ 平成 24 年 10 月 13 日（土）～10 月 21 日（日）： 9 日間 ※ 平成 24 年 10 月 14 日（日）のだるま通りマルシェ開催日を含む
③ 交通規制	・ 現況通り（一方通行規制（北向き））： 7：00～19：30
④ 歩行空間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片側（東側）の歩行空間の拡幅 ・ 三角コーンを設置して歩道拡幅 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>▲ 社会実験の道路断面(案)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>▲ 他都市での社会実験事例</p> </div> </div>
⑤ 交通整理員	・ 実験期間中の実施案内、安全確保やトラブル回避等のため、交通整理警備員 3 名を配置します。

【参加者からの意見とその対応】

“駅通り”の新たなみちづくり（案）について	道路の空間構成	歩道と車道をフラットにして、歩道の段差を無くすことに賛成である。 これまで歩道と車道が段差を通じて分離されることで安心感があった。 歩道と車道をフラットにした際、白線だけの区切りでは、車が歩道に入ってくるのが懸念される。
	荷捌き、停車帯	買い物や荷捌きの際に、一時的に停車する場所の確保が必要である。 買い物などで停車する停車帯を左右に整備することが可能か。ある程度歩いて移動できる範囲内で整備して欲しい
	対面通行	対面通行にして、ゆっくり走ることを厳守させるような道にした方がよいのではないか。
	検討方法	過年度実施したアンケート調査結果は、駅通り周辺住民に対するアンケートであった。本来、駅前の整備に対する意見を伺う際は、大田市民全体の意見が必要となるのではないか。
	【意見に対する大田市の回答】 ・ 提案した内容は確定しているわけではないため、いただいた意見を参考にしながら検討を進めていく。また、可能な限り市民のみなさんのご意見をお伺いし、社会実験の結果も踏まえて検討していく。	
“駅通り”の社会実験について	荷下ろしへの対応	運送会社等が路面店に対して荷下ろしをしないといけない。これに対応して駐車スペースを実験の際に何か所かつかれないか。 商店街への運搬車への対応をお願いします。
	一方通行相互通行	終日一方通行の場合の分と総合通行の場合の分と二つを一緒に実践的に考えられたらどうか
	段差解消	段差解消に特化して実験を実施した方がよい。
	その他の配慮事項	社会実験期間中に子どものみこしが出来るため、安全面への配慮をお願いします。 マルシェの開催時期は車の走行スピードが低速になるよう、注意喚起等をお願いします。 社会実験時の夕方は暗くなるため、コーンの頭に反射板を設置する等の安全対策をお願いします。
	【意見に対する大田市の回答】 ・ バスの停車帯は確保しようと考えている。その他の車両については民間所有の駐車場に協力いただいて、臨時駐車場を設ける予定である。 ・ 夜間の一方通行の実験は大田警察と協議した上で、逆走の危険が高いため実施しないこととした。 ・ その他の配慮事項も含め、いただいた意見を踏まえて社会実験を実施する。	

【松江工業高等専門学校 浅田教授の感想・総括】

みなさんのおっしゃられていることや心配されていることはもっともなことだと思う。束縛や規制をかけるだけでなく、工夫で補う必要がある。ただ、実際にやってみなければ分からないという面があるため、社会実験を行うのだと思う。色々な問題がある中で、みんなで解決策を考えていこうという第一歩を踏み出そうということだと思う。今回の提案がすべてということではないし、どんどん改善し、色々な工夫があると思うので、是非皆さん協力して良いまちとしていきたい。